

「栄養バランス弁当」販売

県立大と開発 ハロース カロリー別に3種



県立大とハロースが共同開発した「栄養バランス弁当」。左から「福」、「陽」、「幸」

県立大(総社市窪木)「締結した産学連携共同と食品スーパーのハロース(本部・早島町早島)は、カロリーと栄養に配慮した「栄養バランス弁当」を開発し、中四国6県にある同社の全店舗(94店)で販売している。2013年に両者が

海草といった和の要素を取り入れながら、ハンバーグなどでボリュームアップを図った「幸」(約600⁺キロカロリー)の3種類で、いずれも1個430円。これまでに累計320万食を販売する人気

シリーズで、大学に消費者から感謝の手紙やメールが届くこともあるという。今回の開発には学生6人が関わっており、このうち同大大学院保健福祉学研究所1年の桑田七帆さん(23)

と保健福祉学部4年松浦萌笑さん(21)は「原価を考えながら、どうすればお客さんを喜ばせられるか頭を悩ませた。たくさんの人に食べてもらいたい」と話していた。(久万真毅)